

2023年度(令和5年度) 新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	100.00	0.00	0.00	0.00
女子	37.50	50.00	12.50	0.00

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	100.00	0.00	0.00	0.00
女子	37.50	62.50	0.00	0.00

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	83.33	16.67	0.00	0.00
女子	28.57	71.43	0.00	0.00

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	12.00	20.00	29.17	42.50	47.50	10.40	136.00	17.17	47.17	女子	15.00	18.75	30.50	37.38	43.25	10.35	138.50	12.25	50.63

県平均値(R5)かつ全国平均値(R5)未満

重点課題および要因

情意面

・体育の授業以外で運動やスポーツをする習慣があまり身につけていない女子児童が約70%いる。
→「運動やスポーツをすることが好き」「体育の授業は楽しい」と回答した女子児童は、37.5%しかおらず、運動することのよさや楽しさを実感できている児童が少ない。また、平日に、メディア機器に1時間以上触れている児童が79%いるため、メディア機器に触れる時間が長いことも要因として考えられる。

体力面

・全体的に、県平均かつ全国平均を下回っている。
→外遊び等の運動経験の少なさが影響していると考えられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・個の目標や課題に応じた学習方法(自分のペースや自分に合った場やルール、学習端末の利用など)で運動できるように、授業改善を行う。また、「やってみよう」「楽しい」という思いを自然に体得できるように、条件や環境を工夫したゲーム性のある活動を取り入れて単元を構想する。
・運動器具を共通で使用できるよう単元設定を工夫し、準備・片付けの時間を減らして、授業中の運動量を確保する。また、単元によっては、兄弟学年で合同で実施する。
・学習カードを活用した目標設定や振り返りの実施、記録証の発行等を通して、できるようになった達成感を味わえるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

・週1回のロングタイム昼休憩を実施し、外遊びの時間を確保する。
・児童会を中心とした兄弟学年・たて割り班での運動遊び、児童主体の体育行事(山南スポーツフェスティバル、長縄大会)等を実施し、楽しみながら体を動かす機会をつくる。
・家庭と連携し、保健だより等を活用した定期的な「生活振り返り」を実施して、生活習慣を見直し、体力づくりについての意識を高める。

2024年度(R6年度)の重点目標値

- ・「運動やスポーツをすることが楽しい」「体育の授業が楽しい」の肯定的評価90%以上にする。
- ・「50m走」の項目で、県平均値かつ全国平均値以上にする。